

## (株)かんぽ生命保険 平成20年度 中間決算の概要

平成19年10月1日の日本郵政公社の民営化で日本郵政公社から簡易保険事業の資産は主として株式会社かんぽ生命保険（以下「当社」といいます。）に、負債は主として独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構（以下「管理機構」といいます。）に承継されました。

当社は、平成19年度下半期より、新たな生命保険会社として生命保険業を営むとともに、管理機構が負債として承継した簡易生命保険契約を再保険として受再しております。

本資料は、このような特殊事情を踏まえ、以下の項目について当社の平成20年度中間期実績を記載するとともに、便宜上、日本郵政公社の19年度上半期及び当社19年度下半期のデータ等を掲載しております。

1 新契約の状況	1	5 資産運用の状況	5
2 保有契約の状況	2	6 基礎利益の状況	7
3 損益の状況	3	7 健全性の状況	8
4 資産・負債の状況	4		

# 1 新契約の状況

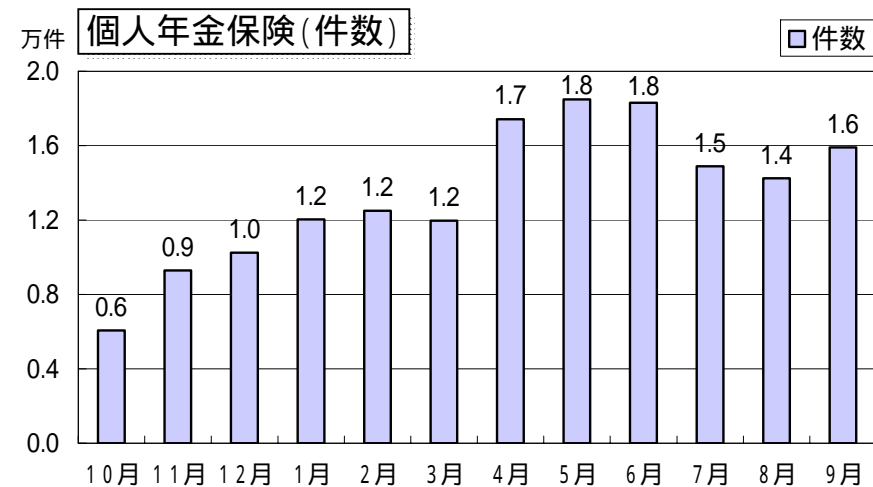
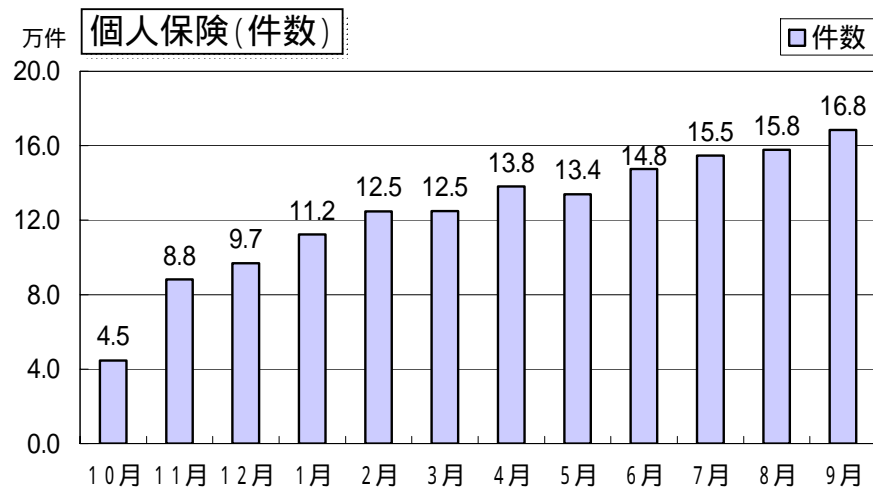
平成20年度中間期の新契約は、個人保険が90万件、金額2兆5,212億円、個人年金保険が9万9千件、金額3,396億円となりました。

(単位未満四捨五入)

(単位:件、百万円)

	平成20年度中間期新契約 (平成20年4月～平成20年9月)		平成19年度新契約 (平成19年10月～平成20年3月)	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	900,444	2,521,188	591,599	1,635,047
普通終身	126,352	407,626	73,998	230,142
定額型	17,579	40,953	9,272	20,253
倍型	108,773	366,673	64,726	209,889
特別終身	49,059	136,639	27,183	73,045
介護終身	37	117	18	67
普通定期	444	1,109	266	718
普通養老	387,086	958,803	228,184	580,291
特別養老	211,537	884,649	149,637	637,008
特定養老	8,021	7,671	6,218	5,861
学資保険	117,739	123,807	105,890	107,167
上記以外	169	766	205	748
個人年金保険	99,221	339,608	62,080	217,262
終身年金	2,594	19,706	1,912	15,506
定期年金	96,625	319,891	60,155	201,657
夫婦年金	2	12	13	98

【参考】月別新契約件数の推移 (H19.10～H20.9)



## 2 保有契約の状況

平成20年度中間期のかんぽ生命の保有契約は、個人保険147万1千件、金額4兆1千億円、個人年金保険16万1千件、金額5千億円となっております。

また、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構から受再している契約は、保険4,930万件、保険金額136兆3千億円、年金保険600万件、年金額2兆2千億円となっております。

(単位未満四捨五入)

### 【参考】受再している簡易生命保険の契約状況

(単位:件、百万円)

(単位:件、百万円)

	かんぽ生命の保有契約			
	(保険者:株式会社かんぽ生命保険)			
	平成20年9月末		平成20年3月末	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	1,471,456	4,093,552	588,970	1,626,980
普通終身	196,635	625,833	73,518	228,605
定額型	26,448	60,309	9,207	20,095
倍型	170,187	565,524	64,311	208,509
特別終身	75,134	206,804	27,005	72,532
介護終身	53	177	18	67
普通定期	679	1,755	263	715
普通養老	608,364	1,520,495	227,282	577,826
特別養老	355,240	1,495,402	148,901	633,823
特定養老	13,996	13,300	6,187	5,829
学資保険	220,997	228,336	105,595	106,855
上記以外	358	1,450	201	728
個人年金保険	160,588	548,648	61,985	216,033
終身年金	4,379	34,205	1,899	15,389
定期年金	156,194	514,333	60,073	200,546
夫婦年金	15	110	13	98

	簡易生命保険の保有契約					
	(保険者:独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構)			(保険者:日本郵政公社(当時))		
	平成20年9月末		平成20年3月末		平成19年9月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保険	49,295,317	136,340,961	52,180,183	144,156,383	55,179,692	152,298,879
普通終身	5,775,729	13,160,439	5,911,341	13,458,701	6,037,550	13,700,659
定額型	2,303,902	5,309,131	2,335,791	5,384,028	2,367,177	5,456,120
倍型	1,099,999	3,246,851	1,142,082	3,378,197	1,168,631	3,451,588
特別終身	6,324,320	14,997,242	6,447,819	15,240,200	6,577,000	15,478,932
介護終身	9,225	29,222	9,378	29,709	9,518	30,130
普通定期	11,076	50,907	12,040	55,579	12,607	59,300
普通養老	16,542,559	40,512,483	17,980,596	44,071,789	19,264,113	47,243,499
特別養老	10,131,739	46,974,379	10,660,591	49,428,296	11,324,192	52,441,371
特定養老	166,817	302,617	170,096	308,764	173,112	314,368
学資保険	8,046,727	14,941,916	8,388,211	15,569,363	8,869,136	16,393,243
上記以外	2,287,125	5,371,755	2,600,111	5,993,983	2,912,464	6,637,377
年金保険	6,004,806	2,207,447	6,298,160	2,310,152	6,562,824	2,404,505
終身年金	1,409,284	445,286	1,421,812	449,415	1,433,711	453,443
定期年金	4,464,334	1,726,135	4,744,834	1,824,621	4,997,338	1,914,874
夫婦年金	131,079	36,024	131,405	36,114	131,666	36,186

(注)簡易生命保険契約の計数については、管理機構及び郵政公社における公表基準によるものです。そのため、かんぽ生命契約と簡易生命保険契約については、単純に比較することができません。

### 3 損益の状況

平成20年度中間期は、経常収益7兆3,151億円、経常費用7兆2,087億円、経常利益1,063億円となりました。経常利益に、特別損益として価格変動準備金戻入額863億円等を加え、契約者配当準備金として1,565億円を繰り入れた結果、税引前中間純利益は391億円となり、中間純利益は247億円となりました。

(単位:億円(単位未満切捨))

	平成20年度 中間期 (20.4.1~20.9.30)	平成19年度 (19.10.1~20.3.31)	差額 -
経常収益	73,151	76,868	3,717
保険料等収入	39,782	38,866	916
資産運用収益 (注1)	8,851	8,713	138
その他経常収益 (注2)	24,516	29,288	4,772
経常費用	72,087	76,748	4,660
保険金等支払金	66,236	61,496	4,739
責任準備金等繰入額 (注3)	1,239	7,395	6,156
資産運用費用 (注4)	1,643	4,948	3,304
事業費	2,678	2,665	12
その他経常費用	290	242	47
経常利益	1,063	119	943
特別利益 (注5)	893	1,135	242
特別損失	0	1	1
契約者配当準備金繰入額	1,565	1,069	495
税引前中間(当期)純利益	391	184	206
法人税及び住民税	129	1,545	1,416
法人税等調整額	14	1,438	1,452
中間(当期)純利益	247	76	170

注1 資産運用収益は、有価証券売却益529億円を含めております。

注2 その他経常収益は、責任準備金戻入等によるものです。

注3 責任準備金等繰入額は、支払備金繰入等によるものです。

注4 資産運用費用は、金銭の信託運用損1,090億円(株式の減損538億円を含む)、有価証券売却損511億円等です。

注5 特別利益は、価格変動準備金が保険業法施行規則で定める積立限度額を超過したことに伴う戻入額863億円等です。

勘定科目のうち主要な科目について掲載しております。詳細は財務諸表参照。

平成19年度については、準備企画会社「株かんぼ」の平成19.4.1~19.9.30までの運営経費等を含んでおります。

# 4 資産・負債の状況

総資産は、平成20年3月末比2兆1千億円減少し、110兆3千億円となりました。  
純資産は、その他有価証券の含み損が改善したこと等により967億円増加し、1兆10億円となりました。

(単位:億円(単位未満切捨))

	平成20年度 中間期末 (20年9月30日)	平成19年度末 (20年3月31日)	差額 -
<b>資 産</b>	1,103,533	1,125,246	21,712
現金及び預貯金	17,747	20,801	3,053
金銭の信託	5,732	18,615	12,883
有価証券	854,624	855,688	1,064
貸付金 (注1)	190,223	199,212	8,988
有形固定資産	1,185	978	207
無形固定資産	505	443	62
代理店貸 (注2)	1,164	1,377	213
その他資産 (注3)	2,720	2,758	38
繰延税金資産 (注4)	1,918	2,341	423
<b>負債及び純資産</b>	1,103,533	1,125,246	21,712
<b>負 債</b>	1,093,523	1,116,204	22,680
保険契約準備金	1,061,220	1,084,799	23,578
その他負債 (注5)	27,030	25,289	1,741
退職給付引当金	543	523	20
価格変動準備金	4,726	5,590	863
<b>純資産</b>	10,010	9,042	967
資本金	5,000	5,000	-
資本剰余金	5,000	5,000	-
利益剰余金	526	278	247
株主資本合計	10,526	10,279	247
その他有価証券評価差額金	516	1,236	720

注1 貸付金は、一般貸付が835億円増加する一方、機構貸付が9,825億円減少した結果、8,988億円減少したものです。

注2 代理店貸は、かんぽ生命が郵便局会社に委託している保険金等の支払に充てるために前渡している資金です。

注3 その他資産は、未収収益2,480億円等です。

注4 繰延税金資産は、危険準備金、既発生未報告支払備金等の将来減算一時差異、その他有価証券評価差額金等です。

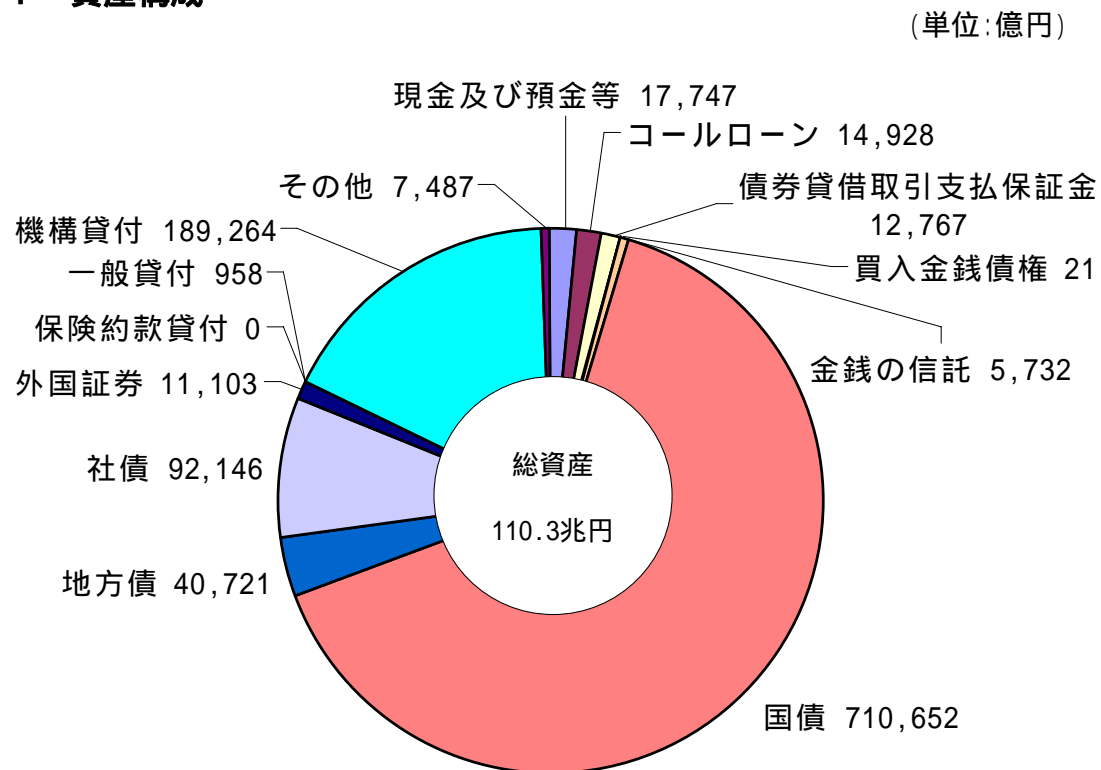
注5 その他負債は、債券貸借取引受入担保金14,382億円、未払金7,659億円、機構預り金4,156億円等です。

勘定科目のうち主要な科目について掲載しております。詳細は財務諸表参照。

# 5 資産運用の状況

かんぽ生命の資産運用は、国債を中心とした有価証券が85兆円、貸付金が19兆円等で20年9月末の残高は、110兆3億円となっております。

## 1 資産構成



## 2 資産残高

	平成20年度 中間期末 (平成20年9月30日)	平成19年度末 (平成20年3月31日)	事業開始時 (平成19年10月1日)
資産残高	110.3兆円	112.5兆円	113.7兆円

## 3 運用利回り

	平成20年度 中間期 (20.4.1~20.9.30)	平成19年度 (19.10.1~20.3.31)	【参考】 平成19年9月期 (公社) (19.4.1~19.9.30)
運用利回り	1.31 % (1.64 %)	0.67 % (1.68 %)	2.87 % (1.69 %)

注 運用利回りは、キャピタル損益等を含めた利回りです。

( )内は、基礎利益上の運用収支(キャピタル損益を含まない運用収支)等の経過責任準備金に対する利回りです。

# 5 資産運用の状況

満期保有目的債券及び責任準備金対応債券を含めた有価証券全体では6,285億円の含み益となっております。  
 その他有価証券の含み損は809億円となっております。(税効果会計適用後は516億円)

## 4 含み損益の状況

(単位:億円(単位未満切捨))

	帳簿価額	含み損益(税効果適用前)	
	平成20年度 中間期末 (20年9月30日)	平成20年度 中間期末 (20年9月30日)	平成19年度末 (20年3月31日)
<b>合 計</b>	<b>866,349</b>	<b>6,285</b>	<b>13,316</b>
満期保有目的の債券	339,565	4,979	8,205
責任準備金対応債券	425,421	2,115	7,048
その他有価証券	101,363	(注1) 809	(注2) 1,938
有価証券等	95,182	360	229
金銭の信託	6,181	448	2,167

注1 税効果適用後の金額は、516億円になります。

注2 税効果適用後の金額は、1,236億円になります。

## 5 金銭の信託で保有する株式の含み損益がゼロになる株価水準

	平成20年度 中間期末 (20年9月30日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)	公社閉鎖時 (19年9月30日)
日経平均株価	13,300円	14,500円	(注3) 16,785円	9,800円

注3 金銭の信託は、時価評価した価格で公社から当社へ承継したため、事業開始時以降、株式の含み損益がゼロになる株価水準が高くなりました。

(参考) 日経平均株価、円相場の推移

	平成20年度 中間期末 (20年9月30日)	平成19年度末 (20年3月31日)	公社閉鎖時 (19年9月30日)
日経平均株価	11,259円	12,525円	16,785円
円ドル	103.57円	100.19円	115.43円
円ユーロ	149.05円	158.19円	163.38円

# 6 基礎利益の状況

平成20年度中間期の基礎利益は2,298億円となりました。

逆ざやが2,000億円発生しておりますが、死亡率・入院率の低下等による利益である「危険差益」、事業の効率化による利益である「費差益」によりカバーされ、三利源を合計した基礎利益はプラスとなっているものです。

平均予定利率は2.04%で、利子利回り1.64%との差は0.40%です。

## 基礎利益の内訳（三利源）

	危険差益	費差益	利差益（逆ざや）	合計（基礎利益）
三利源	1,900億円	2,400億円	2,000億円	2,298億円

## （参考1） 基礎利益の推移

	平成20年度中間期 (20.4.1~20.9.30)	平成19年度（かんぽ） (19.10.1~20.3.31)	平成19年度（公社） (19.4.1~19.9.30)
基礎利益	2,298億円	2,672億円	3,085億円

## （参考2） 基礎利益上の平均予定利率

	平成20年度中間期 (20.4.1~20.9.30)	平成19年度（かんぽ） (19.10.1~20.3.31)	平成19年度（公社） (19.4.1~19.9.30)
平均予定利率	2.04 %	2.06 %	2.07 %
利子利回り	1.64 %	1.68 %	1.69 %

注1 平均予定利率は、予定利息の経過責任準備金に対する利回りのことです。

経過責任準備金は危険準備金を除いた責任準備金により次の式で計算しています。（期始責任準備金 + 期末責任準備金 - 予定利息）× 1 / 2

注2 「利子利回り」は、基礎利益上の運用収支（キャピタル損益を含まない運用収支）等の経過責任準備金に対する利回りのことです。



# 7 健全性の状況

平成20年度中間決算では、危険準備金3兆869億円及び価格変動準備金4,726億円を合わせた3兆5,596億円を内部留保として積み立てております。

また、逆ざや等を補填するための「追加責任準備金」を7兆181億円積み立てております。

## 1 内部留保の積立状況

(単位:億円(単位未満切捨))

	平成20年度中間期末 (平成20年9月30日)	平成19年度末 (平成20年3月31日)	事業開始時 (平成19年10月1日)
危険準備金	30,869	30,762	33,162
限度額(充足率)	34,775(89%)	35,690(86%)	35,305(94%)
価格変動準備金	4,726	5,590	6,725
限度額(充足率)	4,726(100%)	5,590(100%)	(注) 6,626(101%)
内部留保合計	35,596	36,352	39,887

注 会社から承継した価格変動準備金は、保険業法施行規則で定める積立限度額を超過しているため、平成19年度末において超過額を戻入しております。

## 2 追加責任準備金の積立状況

	平成20年度中間期末 (平成20年9月30日)	平成19年度末 (平成20年3月31日)	事業開始時 (平成19年10月1日)
追加責任準備金	7兆181億円	7兆1,925億円	7兆3,779億円

## 3 ソルベンシー・マージン比率

	平成20年度中間期末 (平成20年9月30日)	平成19年度末 (平成20年3月31日)	事業開始時 (平成19年10月1日)
ソルベンシー・マージン比率	1,357.2%	1,116.3%	1,117.9%